

平成11年度に発足した「地球観測フロンティア研究システム」は、高精度モデルの開発・改良・検証に必須のグローバルデータセットの整備・充実や気候変動モデルにない新規現象の発見のため、これまで観測上データの空白域であった地域を中心に、観測研究を実施する。

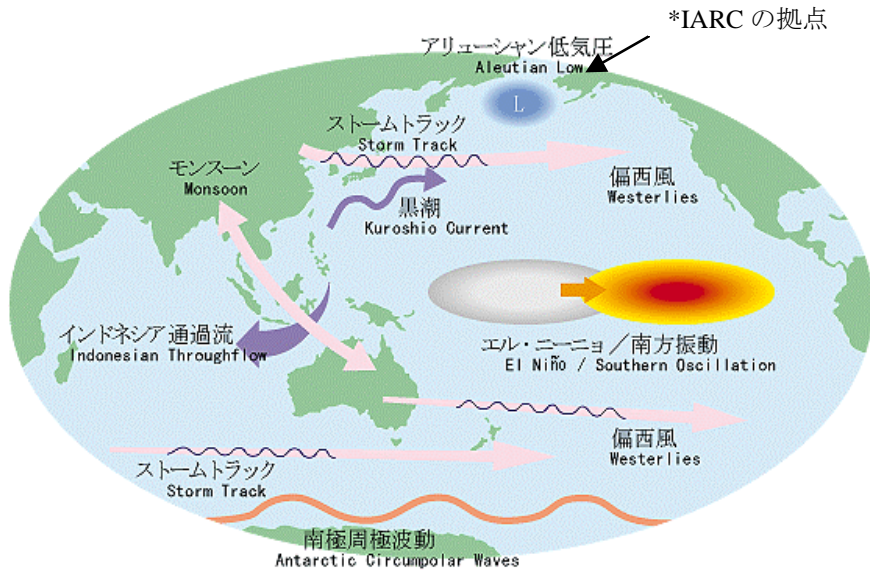
これにより、エルニーニョ現象、北極海氷融解、氷河崩壊、砂漠化などの全地球にわたって生じている様々な環境変動や気候変動の現象間の相互関係を解明し、高精度予測モデルによる予測の実現に貢献するとともに、地球温暖化防止対策等の観点からも地球環境変動を先取りした経済活動の発展等に貢献することをめざす。

**気候変動観測研究領域**

気候変動の人為的影響を知るうえで必要な自然の年々変動の原因となる熱帯大気海洋相互作用、亜表層・中層の海洋変動、黒潮変動、北極圏の役割の解明

**水循環観測研究領域**

アジアモンスーンとそれに伴う水循環変動メカニズムの解明、人為的影響・CO<sub>2</sub>増加・大気組成等による水循環変動予測に向けての観測研究の実施



\*国際北極圏研究センター (IARC) における観測研究

